

平成29年度第2回南城市総合教育会議（議事録）

日時：平成29年12月25日（月） 14：00～14：50

場所：南城市役所 大里庁舎 3階 西側会議室

参加者：南城市長 古謝景春

教育委員長 金城 一男、教育長 山城 馨

教育委員 前城 盛雄、屋宜 哲司、上原 廣子

首長部局 総務部長 玉城 勉、総務課長 泉 直人、総務係長 豊見本 勝

教育委員会 教育部長 當眞 隆夫、教育総務課長 森田 松吉、教育指導課長 城間 盛善、

教育施設課長 當山 勝則、文化課長 親川 義一、

統括指導主事 具志 直哉、教育指導主事 上原 仁、教育指導主事 島袋 成良、

教育総務課係長 外間 明

1. 市長挨拶

皆様こんにちは。平成29年度第2回目の南城市総合教育会議でございますが、職員も含め今後の教育委員会のあり方等いろいろな角度から検討していきたいと思いますが、我が南城市も合併して12年目になりました。当時は5億4千万円しか基金がなくて、全小学校の建て替えという大変大きな課題を抱えていました。大里南小学校跡地をイオンに賃貸し、その賃貸料3千万円により、子供たちを毎年20名米国へ短期留学しており、3年前から中国にも12名ずつ送っておりまして、スポーツや文化活動・音楽活動含めて子供たちの県外派遣への助成も約1千万円近く毎年支出しております。保護者からは資金造成でお酒やタオルの販売をやらなくてもよくなったと喜ばれております。

来年5月からは新庁舎が完成し、この大里庁舎も空きます。ソニーソリューション（ソニーの子会社）と6,600万円で賃貸契約をしまして、360名の職員がここで働くこととなります。将来は500名まで職員を増やす予定とのことで、若い世代の方々が働く環境につながります。

玉城庁舎については、那覇市にあるインターナショナルスクールが南城市に移転したいと話しており、インターナショナルスクールと契約する方向で進めています。このインターナショナルスクールは小学校から中学校まで英語を第二言語で勉強させており、高校までの世界認定の国際バカロレア認定校として認定を受ける条件で誘致すると、県や文科省と協議しながら方針を決定しています。南城市からいろいろな人材を送りながら、そして世界で活躍する子供たちを見守る環境も含めて、いろいろな施策を展開しております。この大里庁舎や玉城庁舎、給食センター跡地も貸し出して、学校の建て替えなどの基金の準備をしております。南城市もあと4年で高率補助も終わりますし、これからの厳しい時代をどう乗り切れるかということも含めてしっかり頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

2. 教育長挨拶

こんにちは。先日出張で鹿児島県へ行ってきました。薩摩藩といえば西郷隆盛や大久保利通、小松帯刀といった幕末の偉人を数多く輩出し、明治維新の原動力となり、近代日本の歩みに大きな影響を与えたところですよ。

県内には彼らの足跡を示す史跡がそこかしこにあり、幕末明治期の遺跡をいくつか散策してきました。来年のNHK大河ドラマが「西郷どん」とあって、維新ふるさと館の周辺には幟も立ち並び、幕末維新时期への関心、まちおこしへの機運も高まりつつある印象を持ちました。

鹿児島中央駅前の東口広場があり、「若き薩摩の群像」と名づけられた17人の男たちをかたどった銅像が設置されている。1865年（慶応元年）に薩摩藩からイギリスに渡航した薩摩藩英国留学生であります。

当時は鎖国体制下であったため、密出国であり、幕府に知られば厳罰は免れなかったという危険な出国でございましたが、海外留学を終えた彼らは、政治家、実業家など各界で活躍し、新生日本の国づくりに大きく貢献した。

危険を顧みず、大きな志をもって海外に飛び出した若者たちの勇気は賞賛に値すると同時に彼らを送り出した殿様・島津斉彬が本当に偉かった。斉彬が取り組んだ「集成館事業」というのがあります。

集成館事業とは、薩摩藩が建設したアジア発の近代様式工場群で行われた数々の事業の総称である。「集成館事業」を背景に薩摩は幕末維新を牽引していくと同時に、人の才能を見いだす能力にも優れ、身分にとらわれず有能な人材を発掘し西郷をはじめ、明治期に活躍する多くの人材を育てたことは、斉彬のもう一つの大きな功績であります。

未来を見通す卓越した構想力と実行力、進取の気性、教育の振興と人材育成に熱心なことは、古謝市長と相ざるものを感じた次第です。

南城市では、今後、知念小中連携教育及び知念幼小中英語一環教育に取り組んでいきたいと考えております。1年前の総合教育会議での古謝市長の提案を受け、委員会でも検討を重ねて、たたき台も作ってまいりました。

今の子供たちが大人になる頃には、情報化、グローバル化が進展し、予測困難な社会と言われております。その中であって、確かな学力を持ち、主体的に他者と協働して力強く生きる子、「国際性豊かな人材育成」は大きなテーマである。本日は有意義な話し合いができることを期待しております。

3. 会議の進行

古謝市長 ただいまから平成29年度第2回南城市総合教育会議を開会致します。

本日の日程はお手元に配布してあります次第にそって進めたいと思います。意

義ございませんか。

委員全員 異議なし。

古謝市長 異議なしと認めます。よって日程表のとおり進めて参ります。

まず初めに「平成30年度に取り組みたい重点施策等の予算要求状況について」事務局からの説明を求めます。

當眞部長 「平成30年度南城市教育委員会重点施策等の予算要求状況について」説明

1. 重点施策

1. 新規 給付型奨学金の創設
2. 拡充 スポーツ・文化活動等派遣補助金の補助割合の見直し
3. 新規 幼稚園の認定こども園への移行について
4. 新規 デジタルアーカイブによる文化財の保存と活用
5. 新規 教育ビジョンの策定
6. 新規 市長からの提案事項
7. 新規 知念地域における幼・小・中一貫教育の導入
8. 新規 大里北小学校区再編
9. 継続 大里北小学校全面改築工事
10. 継続 大里中学校大規模改修工事实施設計委託料

2. 教育環境整備

- (1) ICT授業環境整備
- (2) ICT校務環境整備
- (3) その他（校務支援・教育環境整備等）

3. その他（業務改善等）

- (1) スクールバス運行業務及び臨時・嘱託職員（一部）の民間委託
- (2) 社会体育施設の指定管理を含めた運営方法の改善
- (3) 大里勤労者体育センターの廃止及び跡利用

具志統括指導主事 「知念小中連携教育及び知念幼小中英語一貫教育 全体構想図」について説明

古謝市長 これから質疑を行います。質疑はございませんか。

金城委員長 知念小中学校の連携教育について、英語コミュニケーション能力をつけるにはどうしても国語力が必要です。読解力がないと英語コミュニケーション能力はつかない。小学校とか1年生には一貫して読書指導が入らないといけない。生徒指導ではないと思います。一人ひとりにしっかりと読解力をつけないと英語力はつかない。特にこれから人工知能（AI）の問題もあるし、読解力がないと読み解くことができない。この前の新聞でも出ていました新しい大学入試の問題、数学の問題もありましたが、意味が分からないから解けない。計算は簡単なんです。そういうのがないと同じように英語もできないと思っています。生

徒指導は小中一貫して当たり前のことなので、重点的に国際豊かな人材というのは読解力をつけて、沖縄の歴史、南城市の歴史も解ってはじめてできるのではないか？

具志統括指導主事 ご指摘があった点について、全体構想図に取り入れていれていきたいと思えます。

古謝市長 ご指摘があった点については、教育委員会の方で再度調整していただきたいと思えます。

前城委員 インターナショナルスクールの件が出ていましたが、とても重要なものであり、これが実現すれば南城市の教育環境はまったく変わった状況になる。ぜひみんなで力を結集して実現させたいと思えます。特に将来的には高校そして大学という展望を持って南城市がその教育の拠点になっていく可能性をもっている。ぜひ実現できたらいいなと思えます。それからいろんな委員会とか見てきたんですが、内輪で委員会作って、内輪で論議する。内輪のことしか話題にならない。もっと社会が関心あるものとかそういうものがなかなか出てこない。だから、いろんな委員会を作る場合アドバイザーでもいいですので、外部のいろんな人材を活用して事業を作り上げる上では、どんどん意見を聞いて、現場の先生方がきづかなかったこと、そういうスケールでやらないと当面できることで終わってしまう。第三者が入らないと、いろんな改革にならない。そういうことでは厳しい。外部の意見をどんどん取り入れて、インターナショナルスクールも南城市が拠点になって実現できたらいいと思えます。

具志統括指導主事 推進委員会の件ですけれども、現在要綱等作成中ですが、推進委員会のところでメンバーの中には有識者（教育委員会以外）が明記されており、何名になるかわかりませんが、外部からの意見を取り入れながら実行性のある取り組みを実施したいと思えます。

上原委員 給付型奨学金の創設の件で私からのお願いなんですが、南城市型の奨学金創設について、南城市は短期留学で中国やアメリカに派遣しています。その子供たちが帰ってきてからの発表会の中で、ぜひもう一度留学したいという声がいっぱいありました。こういう短期留学で行けるお子さんはある程度家庭のほうでも資金の準備ができたり、可能性はあるのですが、まだまだ短期留学も行けないお子さんもまだいらっしゃるんで、そこら辺はやはり学校や地域の人たちと連携して経済的に恵まれていないお子さんの海外への派遣もできるような奨学金の創設を願います。後、短期留学に行ってきた方もぜひもう一度留学したいと要望もあり、長期的に留学できるよう短期では身につけられない語学力だとか、地域を振り返って、私たちが住んでいる市に反映できるほどのいろんな知識を身につけてくる。長期留学でないといけないでしょうから長期に派遣するための奨学金の設置をぜひ願

いしたいと思います。経済的に恵まれていないお子さんが県内大学や県外の大学に進学するためのバックアップができるような全部網羅できる奨学金をお願いしたい。ただ、みんなにという訳にはいかないでしょうから、やはり選別していく必要があると思うのですが、できれば力のあるお子さんはぜひ漏れないようになんらかの形で救えるような奨学金の設定をお願いしたい。

古謝市長 私が奨学金の設置を検討したのはとても優秀な母子家庭の子どもがいて、現在は大学を卒業して社会人になっていますが、知念村長時代に米国に留学経験してはどうかといたら、お金がないからあきらめましたと話していた事が、どうかにかしなければいけないとこの制度を設けた。その制度の中で短期留学はあくまでも短期的な視点で学校を見てもらう。米国の状況を肌で感じて、その後自信をもって長期留学に挑戦してもらう。この短期派遣事業は喜舎場さんという方が関わっておりますが、優秀な人材は派遣事業事務局で面接して奨学金を使えるようにしています。年間140万円でできるような環境を作っております。そういうことも含めて子供たちがいきたいということであれば橋渡しをしております。その分は優秀な子は送れるということで、中城村の子も入っていますし、八重瀬町の子もおります。県全体で連携していますのでよろしくをお願いします。

事務局へ困窮世帯の拡充を考えているか？

当真部長 はい。短期留学については経済的に厳しいところは100%助成しています。その他の学生については、約3分の1を助成しています。

長期留学については、経済的に厳しい世帯については検討中です。

財源を確保して留学等にあてていきたいと考えております。

古謝市長 留学にいけない人はワシントン州立大学から沖縄に招聘して、ESLキャンプも実施しております。南城市からは20名ぐらい毎年参加しております。

古謝市長 他に質疑はございませんか。

ないようですので、「平成30年度南城市教育委員会重点施策等の予算要求状況について」を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり進めていくことにご異議ございませんか。

委員全員 異議なし

古謝市長 異議なしと認め、原案のとおり採択されました。

古謝市長 次に「意見交換会」を行いたいと思います。委員の皆様、忌憚のないご意見をよろしくをお願いします。

前城委員 重点施策が決まりましたが、ただ学校訪問していて、生徒たち、先生たちの一番強い要望は中学校の空調設備の管理です。だから当局もぜひ忘れないで1年でも早くやってほしいと思います。もう1点ですが、知念の一貫校はたとえば沖縄でも新しい特殊な高校ができたときに成功した高校というのはそのことを良く理解した校長が来ています。全面的に頑張る先生がいると集まってできるんです。構想は

どんなに立派でもそれをやりきれない校長がきたら駄目なんです。教育は人なり。
優秀な人材を集めないといけないと思います。

古謝市長 他に意見はございませんか？

古謝市長 他に意見はないようですので、次に「その他について」委員及び事務局からありませんか？

事務局（豊見本）平成30年度 総合教育会議の実施時期について説明

古謝市長 他にございませんか？

以上で会議を閉じたいと思います。